

Ⅲ 火災編

火災概況・火災件数

1 火災概況

令和4年中の火災件数は203件、焼損面積2,733㎡、損害額は2億3,725万4千円となっています。

火災により焼損した棟数は212棟、り災世帯176世帯、り災人員は345名でした。また、火災による死者は8名、負傷者は37名となっています。

火災原因では、「放火」（放火の疑い含む）が35件で最も多く、以下「たばこ」と「こんろ」がそれぞれ25件、「配線器具」が20件と続いています。



建物火災現場

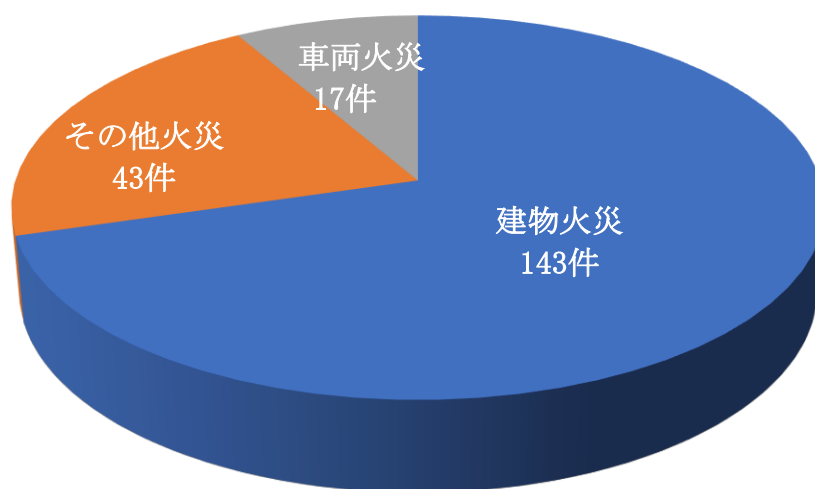
2 火災件数

火災件数 203 件を火災種別毎に分類したところ「建物火災」が最も多く 143 件発生しており、以下「その他火災」43 件、車両火災 17 件となっています。

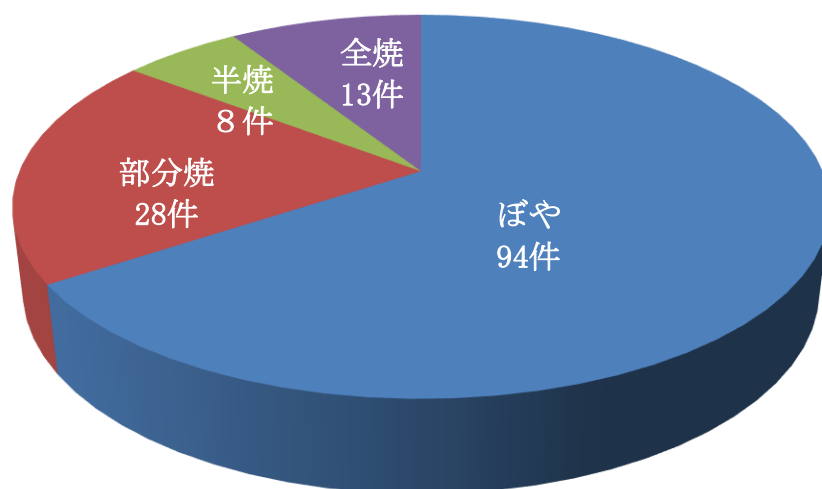
また、過去 10 年間の火災件数において、令和 4 年中は、前年より 30 件増加し、火災件数が 200 件を上回るのは 4 年ぶりでした。

火災発生件数の多い建物火災を用途別で分類したところ、住宅での火災が 82 件発生しており、全建物火災に対し住宅火災の発生率は約 57%を占めています。

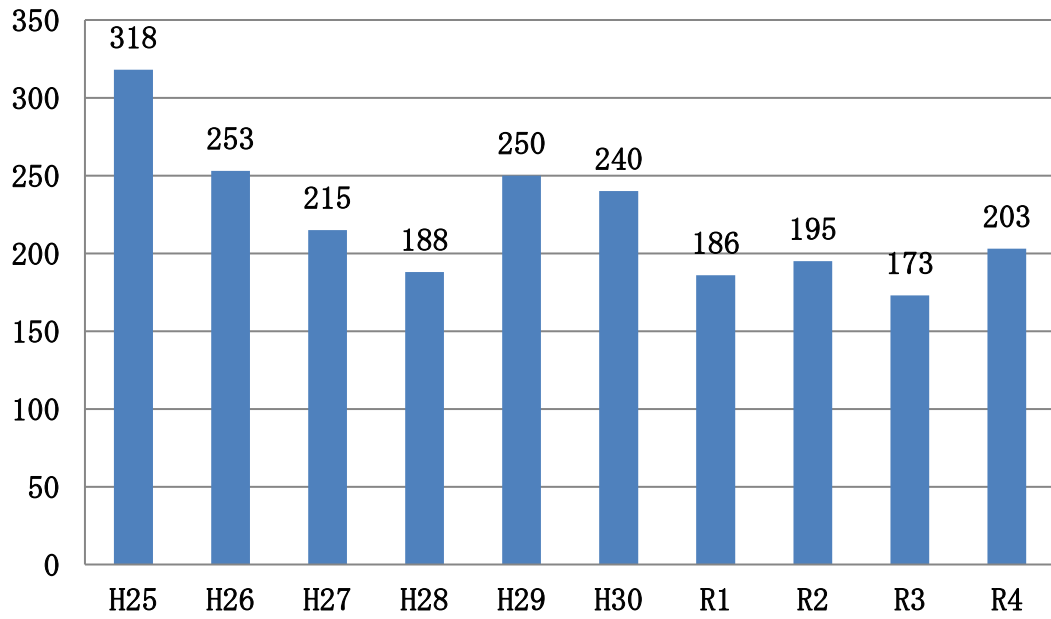
全火災（203 件）の火災種別毎の件数



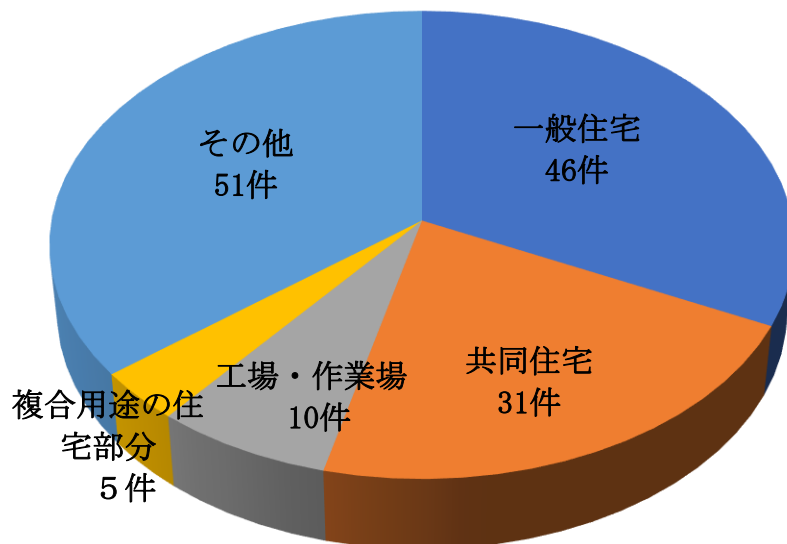
建物火災（143 件）の焼損程度別件数



過去10年間の火災件数



建物火災の用途別火災件数

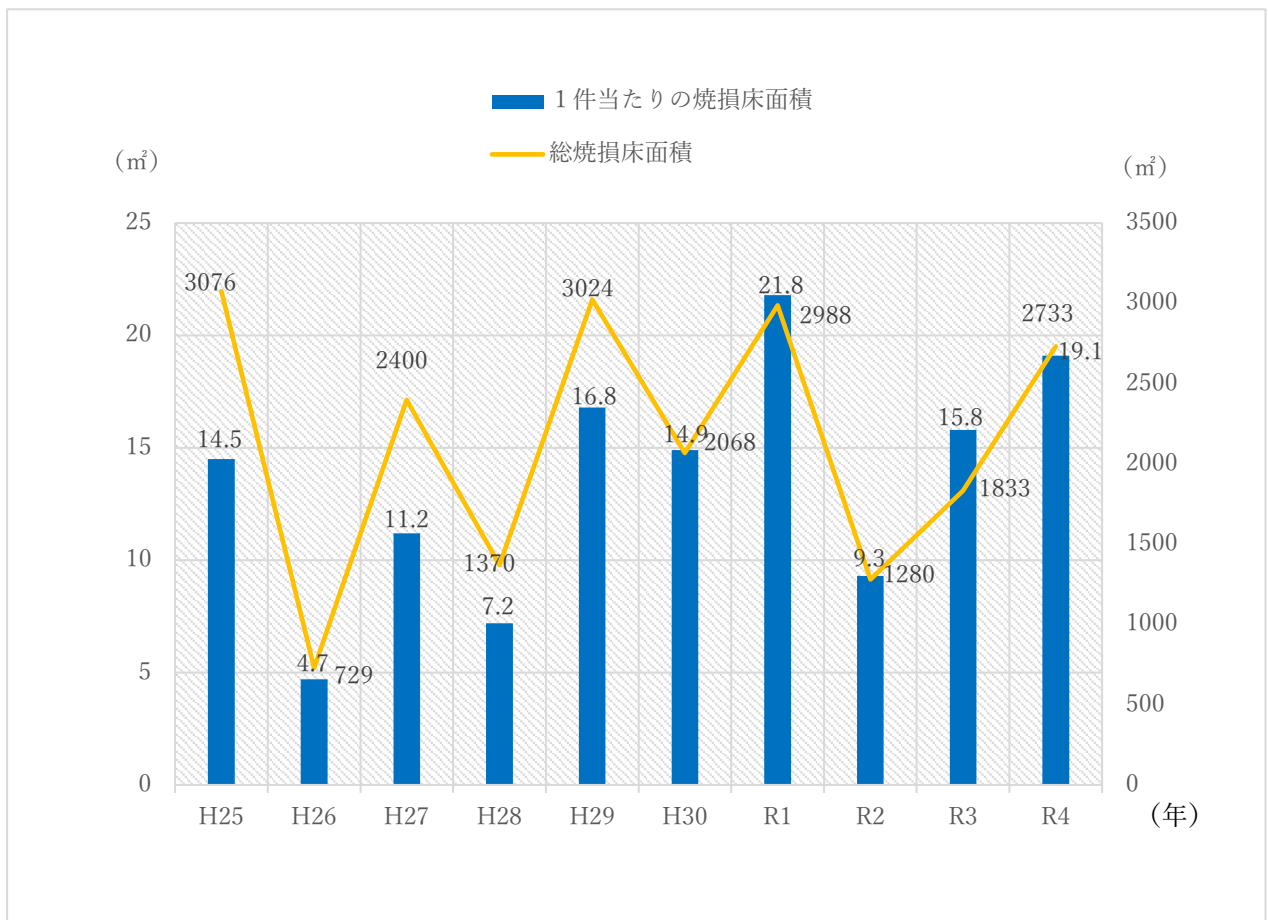


り災状況

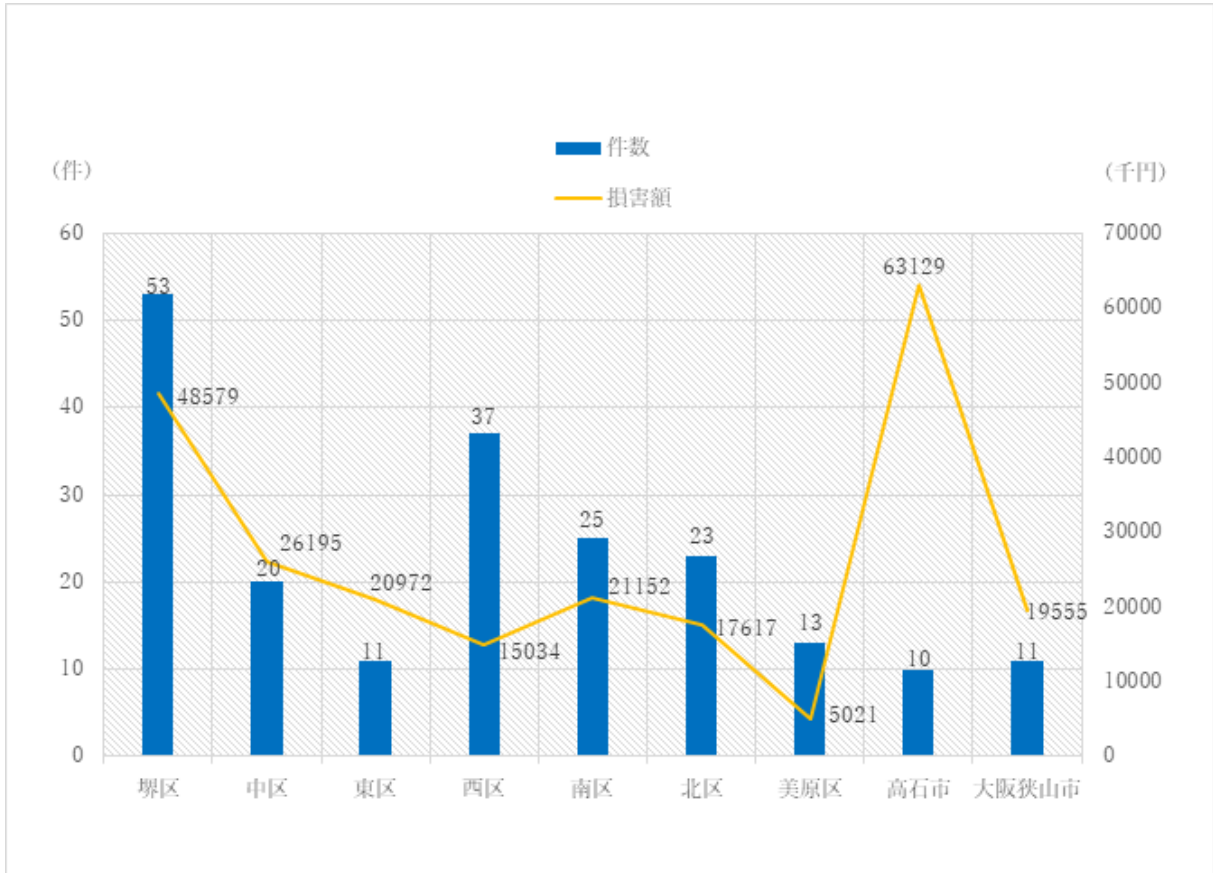
火災による焼損棟数は 212 棟、り災世帯は 176 世帯、り災人員は 345 名で、前年より焼損棟数は 74 棟、り災世帯は 51 世帯、り災人員は 74 名それぞれ増加しています。

焼損床面積は 2,733 m²で前年と比較すると 900 m²増加しています。また損害額の合計は 2 億 3,725 万 4 千円となっており、前年と比較して 3,446 万円増加しています。

過去 10 年間の建物火災における焼損床面積



区別火災件数及び損害額



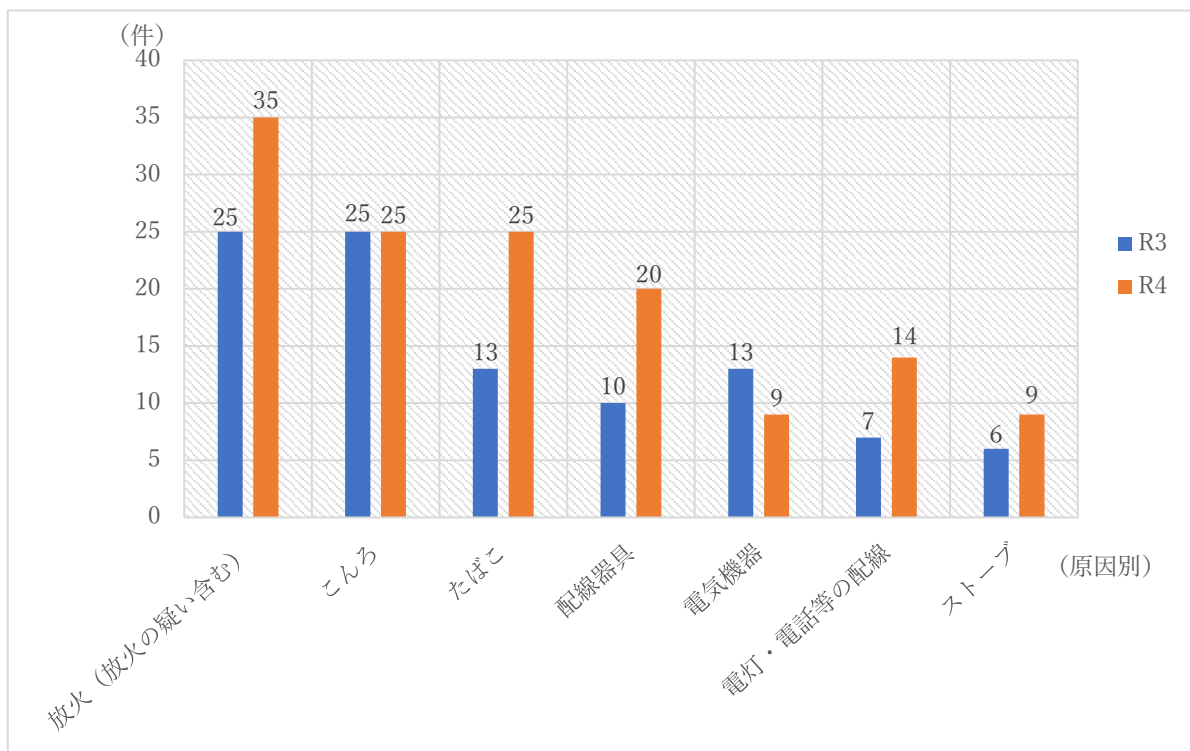
原因別火災発生状況

原因別火災件数は、「放火」（放火の疑い含む）が 35 件で全体の約 17%を占め、次いで「こんろ」と「たばこ」がそれぞれ 25 件、以下「配線器具」、「電灯・電話等の配線」、「電気機器」となっています。

火災原因の第 1 位である放火（放火の疑い含む）火災を減少させるために「放火されない、放火させない」まちづくりが重要です。

また、こんろ火災を減らすためには、調理中は目を離さないことや、こんろの周りに燃えやすい物は置かない等、基本的な対策を徹底しなければなりません。

主な出火原因別火災件数



火災による死者

1 火災による死者

火災による死者は前年と同数の8名で増減なしで推移しています。

(1) 発生経過

死者の発生経過は、「逃げ遅れ」が3名、「救出・消火中」が2名、「その他」が2名、「放火自殺」が1名となっています。

(2) 対象物別発生状況

死者の発生した建物火災の用途は、一般住宅が4名、共同住宅が2名、複合用途の住宅が1名、その他が1名となっています。

2 火災による負傷者

火災による負傷者は37名で前年と比較して15名の増加となっています。負傷者の区分で見ると、応急消火義務者30名、その他4名、消防吏員2名、消防協力者1名となっています。

火災種別毎では、建物火災で30名、建物火災以外で7名が受傷しており、負傷者の大半は建物火災で発生しています。

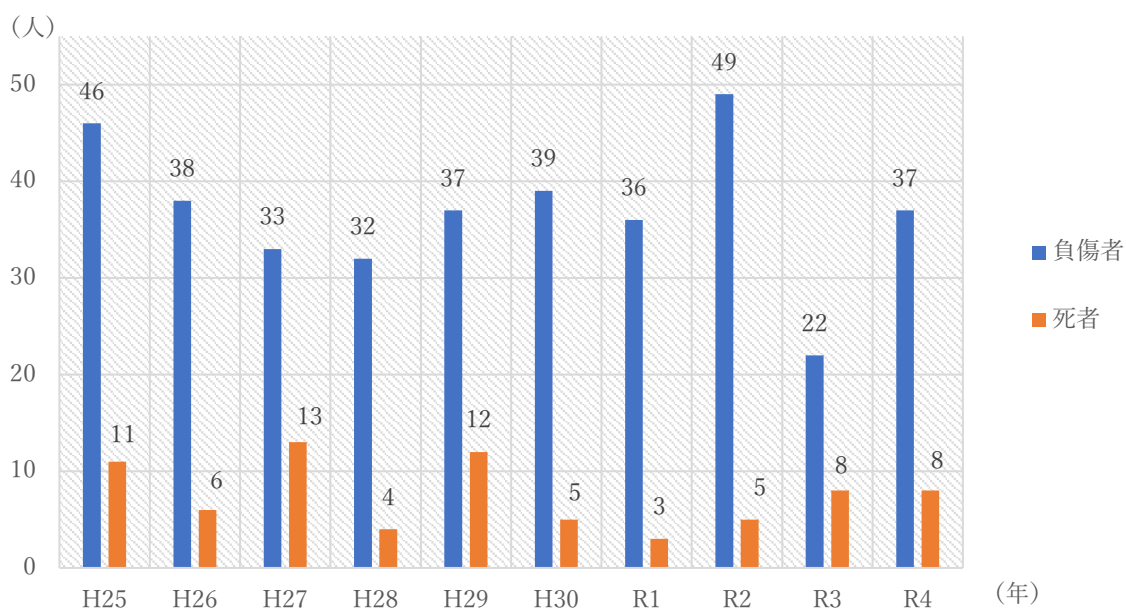
死傷者の性別・年齢別発生状況

| 年齢別 | 性別 | 死 者 | | | 負 傷 者 | | |
|-----------|----|-----|---|----|-------|----|----|
| | | 男 | 女 | 合計 | 男 | 女 | 合計 |
| 65 歳 以 上 | | 3 | 2 | 5 | 7 | 4 | 11 |
| 50 歳～64 歳 | | 2 | 0 | 2 | 3 | 3 | 6 |
| 40 歳～49 歳 | | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 5 |
| 30 歳～39 歳 | | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 | 6 |
| 20 歳～29 歳 | | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 10 歳～19 歳 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 10 歳 未 満 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 5 |
| 不 明 | | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | | 6 | 2 | 8 | 23 | 14 | 37 |

死傷者の性別・対象物別発生状況

| 防火対象物 | 性別 | 死 者 | | | 負 傷 者 | | |
|------------|----|-----|---|----|-------|----|----|
| | | 男 | 女 | 合計 | 男 | 女 | 合計 |
| 一般住宅 | | 2 | 2 | 4 | 4 | 4 | 8 |
| 共同住宅 | | 2 | 0 | 2 | 5 | 5 | 10 |
| 複合用途の住宅 | | 1 | 0 | 1 | 5 | 4 | 9 |
| 店舗・事務所 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 公衆の出入りする建物 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 社会福祉施設 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 学校・病院 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 工場・倉庫 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 車両・船舶 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 |
| 合 計 | | 6 | 2 | 8 | 17 | 13 | 30 |

過去 10 年間の火災による死傷者状況



その他事故の状況

統計外火災（火災発生後7日間を超えて通報してきた事後聞知の火災及び雑草や廃材、塵芥のみが焼損した火災）・警戒・誤報・虚報・応援（他市町村へ当消防局の車両が出場し活動したもの）・風水害としての出場をその他事故と称し、令和4年は1,436件、1日平均3.9件の発生となり、火災による出場とは別にこれらの事故処理のため消防隊が出場し活動しています。

過去10年間のその他事故件数状況

